

剣道

競技要項

- 1 日 時 令和 6年 7月 6日(土) 9時00分開始
7日(日) 9時00分開始
- 4
2 会 場 大島商船高等専門学校 第一体育館
- 3 競技規則 ①(一財)全日本剣道連盟剣道試合・審判規則並びに同細則による。
②竹刀については、次のとおり定める。
男子の竹刀は、4年生以上は、長さ120cm以下、重さは510g以上とし、3年生以下は、長さ117cm以下、重さは480g以上とする。先革については、長さは5cm以上、太さは26mm以上とする。また、ちくとう部直径は21mm以上とする。
女子の竹刀は、4年生以上は、長さ120cm以下、重さは440g以上とし、3年生以下は、長さ117cm以下、重さは420g以上とする。先革については、長さは5cm以上、太さは25mm以上とする。また、ちくとう部直径は20mm以上とする。
- 4 参加人員 男子 ①団体戦 1校1チーム(監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手7名以内【試合出場5名】)10名以内。
②個人戦 選手8名以内
女子 ①団体戦 1校1チーム(監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手5名以内【試合出場3名】)8名以内。
②個人戦 選手3名以内
- 5 競技方法 男子 ①団体戦
(ア) リーグ方式による
(イ) 試合は5名による勝者数法とし、オーダーは各試合毎に組み替えることができる。
(ウ) 試合時間は4分とする。
(エ) 勝敗の決定は次のように行う。
a) 試合は3本勝負とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は引き分けとする。
b) チームの勝敗は、勝者数の多い方を勝ちとする。ただし、勝者数が同数のときは、総本数の多い方を勝ちとする。総本数も同数の場合は引き分けとする。
c) リーグ戦の順位決定は、勝ちを1点、引き分けを0.5点として点数の多いチームを上位とする。
ただし、同点数の場合は勝者数の多いチームを、勝者数も同数の場合は総本数の多いチームを上位とする。さらに順位が決定しない場合は、代表者戦を行う。代表者戦が三つ巴戦になった場合は、代表者は同一選手とする。
代表者戦は任意の選手により、1本勝負とする。ただし、延長戦は時間を3分ずつ区切り、勝敗が決するまで行う。延長2回ごとに、水分補給を含めた休憩を入れる。【3分×2 休息2分3分×2 給水】繰り返し。
(オ) オーダー表の提出は、各試合毎に行い、前試合中堅戦終了まで又は前試合終了後、直ちに提出する。
②個人戦
(ア) トーナメント方式による。
(イ) 試合時間は4分とする。
(ウ) 勝敗の決定は、団体戦に準ずるものとする。ただし、延長戦は時間を3分ずつ区切り、勝敗が決するまで行う。延長2回ごとに、水分補給を含めた休憩を入れる。【3分×2 休息2分3分×2 給水】繰り返し。
(エ) 前年度4位までをシードする。シード選手は、各校において強者順の1位から登録する。
(オ) 個人戦の選手登録は強者順とする。その場合、強者順1~4位の選手は準決勝までの対

戦がないようにし、かつ1・2位の選手は決勝戦までの対戦がないようにする。

女子 ①団体戦 男子団体戦に準ずる。

(ア) トーナメント方式による。前年度2位までをシードする。ただし、出場校が4校以内の場合は、リーグ方式に切り替える。

(イ) 試合は3名による勝者数法とし、オーダーは試合ごとに組み替えることができる。ただし、2名の場合は、先鋒・大将に選手を置く。

(ウ) 試合は3本勝負とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は延長戦を行う。延長戦は2分とする。勝敗が決しない場合は引き分けとする。なお、学校の勝敗が決した場合、延長戦は行わない。

②個人戦 男子個人戦に準ずる。

(ア) トーナメント方式による。

- 6 個人情報の取扱い ①個人名などをホームページ、報道等に公表して欲しくない者は、学校を通して競技開催校事務局に申し出ること。事前に申し出のない場合は、公表する。
- ②「独立行政法人等の保有する個人情報保護に関する法律」に基づき、大会参加申込書等により取得した個人情報は、大会運営、結果公表等の目的以外には使用しない。

競 技 役 員

審判長 京條 利次

審判員 岩国市剣道連盟、周防大島町剣道連盟、光市剣道連盟、平生町剣道連盟、柳井市剣道連盟